

東京土建の「労供は、厚労大臣の許可を得て運営する事業です。組合が求める内容で労働協約を結んだ事業所に、組合員を供給するものです。アイディホームで社員大工を募集です。(関連記事6面)

労働者供給事業 で社員大工募集



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

印刷部数10万7700部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円) 定価 五十円

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人 吉川 豊

足立 区長から懇談依頼 「災害対策助成、広げたい」



左より真木委員長、村上副委員長、話を聞く近藤弥生区長(右端)

【足立・書記・早川勝久記】1月31日に足立区の令和5年度の予算案が発表されました。『安心と活力』をキーワードとする新年度予算の5本柱のひとつに災害対策が掲げられ、かねてから組合が要望し続けていた災害対策関連助成制度の内容が大幅に拡充されました。具体的には、耐震診断費、耐震改修費、解体費、不燃化地域の新築費、家具転倒防止設置費、止水板設置費などの助成が見直されることになりました。

この助成制度を広く区民に伝えて利用を促すため、足立区の近藤弥生区長より東京土建足立支部に呼びかけがあり、2月10日、区長懇談の場が設けられました。支部からは、真木泰久委員長、村上勇副委員長など、5人が参加しました。

組合からは、区内工務店を対象とした制度説明会の早期実施を提案。また、区報だよりだけではなくSNSを活用した動画配信や、区内庁舎ホール内での相談会の実施などをも

『新しい戦前』 にしてはならない

大軍拡で生活破壊



どけんたろうとフリーランスの会の小泉さん



渡辺副委員長

2月18日、JR秋葉原駅電気街口において東京土建主催で「インボイスを吹っ飛ばせ」大宣伝行動を実施し、89人(東京土建は73人)が参加しました。この行動は翌日に行なわれる日比谷野音での集会等への参加を呼びかける目的でも企画されました。

行動参加者が「税金の押し付け合い、実質増税となるインボイス制度の実施中止」などと書かれたチラシを配り、中止を求める署名を求めるなか東京土建のマスコット「どけんたろう」も登場し、宣伝を盛り上げました。

リレートークは、熊切健二書記次長の司会で進行。インボイス問題検討超党派議員連

なり、演劇業界は疲弊している。導入されれば廃業に追い込まれる」(演劇人の会)など発言が続く。最後に渡辺義久副委員長が「小零細業者、一人親方には仕事をやめると言っているに等しい。中止の声をあげよう」と訴えました。

仕事帰りだという建設の仕上げ関係の60歳代男性は「もっと宣伝して知らせてほしい」と話していました。

防衛増税ストップを

4月の選挙で声上げよう

シャンの、集会の趣旨に積極的に賛同を寄せるMCが会場を和ませました。

えで、フリーランスの小泉さんは「民商、東京土建の運動が誰かの灯台になっている。声上げる勇気もった」と発言、また演劇人の丸尾さんは「生き方として文化芸術に関わっている担い手たちが、現場を離れている」とストップインボイスを訴えました。

東京土建の中村隆幸委員長は「資材高騰で、建設の仲間も苦しんでいる。勝手に決めた防衛増税は許せない。政府の無策で死んでしまう前に、4月の選挙で声を上げたい」と発言しました。



大軍拡による増税、社会保障改悪は許さない

東京土建の中村隆幸委員長は「資材高騰で、建設の仲間も苦しんでいる。勝手に決めた防衛増税は許せない。政府の無策で死んでしまう前に、4月の選挙で声を上げたい」と発言しました。

■いまや監視カメラは、個人宅、マンション、コンビニ、商業施設、街頭、駅などあらゆる場所に設置され、私たちは日々撮影され録画されている。技術的には国民の監視、管理は可能であろう。問われるのは、その誠実さだ。国会を監視して国民に向き合えない今の政府には、顔認証データは渡せない。

インボイス 弱者ねらい打ちの増税 アニメの街で「中止」を訴える

アニメの街で「中止」を訴える

■マイナンバークードの取得申請が2月21日時点で8800万件を越え、人口の70・1%に達したと、総務相が明らかにした。2万円分のポイントがもらえると宣伝し、このところ、駅構内でものほりを立てて、その取得を進めていた。携帯ショップではカードの交付申請サポートを無料で受けられるという。利益の出ない業務となるが、ショップは「地域貢献」というミッションに合致するというのが、果たして本当だろうか。